

第3学年 技術・家庭科 シラバス（学習案内）

教科の目標

○中学校技術・家庭科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

○中学校技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

○中学校家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

本校ではこれらの目標を次の「評価の観点と方法」をもとに達成することを目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
生活や技術への関心・意欲・態度	・積極的に学習に取り組もうとする態度や学習した技術や知識を家庭生活や社会生活をよりよくするために生かそうとする態度が見られるかについて評価します。	・授業中の発言 ・授業への意欲、関心 ・プリント等提出物への記入状況 など
生活を工夫し想像する能力	・生活を見直し、習得した知識や技術を積極的に活用してよりよい生活を送るために創意工夫しているかを評価します。	・テスト ・プリント等提出物 など
生活の技術	・生活を行うための基礎的な技術が身に付いたかを評価します。	・実習へ取り組む姿勢 ・実習での理解度 ・課題の完成度 など
生活の知識・理解	・生活をよりよくするために必要な基礎的な知識が身についているか。また技術とのかかわりについて理解しているかを評価します。	・テスト ・プリント等提出物 など

第3学年 技術・家庭科 学習計画

学期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
一 学 期	4		
	5		
	6	○生活とコンピュータのかかわりを考えよう	☆探してみよう、わたしたちの生活の中ではたらくコンピュータ・社会の中ではたらくコンピュータ、家庭の中ではたらくコンピュータを探し、コンピュータが仕事をする利点について考える。
	7	・コンピュータの原理や使用方法を考えさせる	☆デジタルとアナログを理解する。 ☆コンピュータの性能やできることを理解する。
二 学 期	8	・コンピュータ活用の計画を立てよう	☆身近な環境問題を取り上げ、解決のためにコンピュータを使ってできることを考える。
	9	・情報を収集しよう	☆環境問題(例：省エネ)についての情報を収集する。
	10		
	11	・ロボットを動かそう…ソフトウェアでプログラムしてロボットに命令を出そう。	☆「プログラム教材」を活用し、プログラムを通して、課題を解決する。
	12		☆コンピュータを活用した「自動制御」で、うまくいったところ、うまくいかなかったところについてまとめる。
三 学 期	1	・情報モラルのある快適な生活をくふうしよう	☆著作権や表現方法を理解する。
	2		
	3		
一 学 期	4		
	5		
	6	○幼児の生活と遊び	☆幼児の体の発達について理解する。 ☆幼児の心の発達について理解する。 ☆幼児の心身の発達と家族の役割について理解する。 ☆子どもの成長と地域の関わりを理解する。
	7		
二 学 期	8	○私の成長と家族・地域	☆自分の成長を振り返り、家族の一員としてよりよい生活を送ろうとする意識を高める。
	9		☆家庭のはたらきや家庭を支える仕事、地域との関わりについて理解する。
	10		
	11		
	12		
三 学 期	1	○幼児とのふれあい	☆幼児の心身の発達に応じた、適切な対応を理解する。
	2		
	3		

◎学習計画は、実態に応じて変更することもあります。